

課題管理アプリにおける学生間のインタラクション機能の検討

○伊藤崇 金指豪 石津昌平 (青山学院大学)

Examination of Interaction between Students in an Assignment Management Application

* T. Ito, T. Kanazashi and S. Ishizu (Aoyama Gakuin University)

概要— COVID-19 拡大により人々は大学の授業は一時的にオンライン授業に移行した。オンライン授業下でも対面時と同じような学びを提供するために様々な研究が行われており、学生同士のつながりを意識した課題管理アプリケーションも開発されていた。本研究では、SNS のいいね機能などを参考に学生同士のつながりをより強くする機能を検討し、課題管理アプリケーションに追加する。

キーワード: 課題管理アプリケーション, インタラクション機能, 学習支援

1 はじめに

COVID-19の拡大により、教育現場は一時的にオンライン授業に移行した。オンライン授業では大学に登校する必要がなく、多くの学生が自宅で一人きりで授業を受けていたため、学生同士のつながりは希薄になっていった。オンライン授業に関する研究は活発に行われているが、オンライン授業を対面授業に近づけるための方法の提案が多く、学生同士のつながりに着目した研究は少ない。その中で、柴田らはオンライン授業のための課題管理アプリケーション「TaskReminder」を提案している²⁾。TaskReminderは学生同士の孤独感を軽減する軽減する目的で開発されていたが、他の学生の授業課題の状況を確認できる程度で、積極的に学生同士のインタラクションを強くする機能は搭載されていなかった。

そこで、本研究では、SNSを参考に課題管理アプリケーションを利用する学生同士のインタラクションを強化する機能を検討し、新たにReminderConnectを提案する³⁾。ReminderConnectは課題情報の複製やSNSのいいねなど他の学生に干渉できる機能を搭載し、学生同士のつながりの強化を目指している。

2 TaskReminderの仕様

柴田らの開発したTaskReminderには大きく分けて3つの機能が搭載されていた。1つ目は、課題情報を登録し一覧で確認できる課題管理機能である。2つ目の機能は、締め切りの近い課題がある場合のリマインド機能である。リマインドはTwitterとLineに送られ、学生はどちらからでもリマインドを確認することができる。3つ目の機能が孤独感を軽減するために考えられた他学生の課題の提出状況を確認する機能である。この機能では、同じ授業を設定している他学生の課題の提出状況を一覧で確認することができ、自身の他にも同じ課題に取り組んでいる学生がいるというのを知ることによって孤独感の軽減を期待していた。

3 インタラクション機能を追加したReminderConnect

本研究では、TaskReminderをベースに学生同士のつながりを考慮したアプリケーションとしてReminderConnectを提案する。ReminderConnectではSNSの機能を参考に、インタラクションを強化する機能を検討し実装した。SNSでは、人の投稿に対してお気に入り登録やいいねなどで反応することで、ユーザ

Table 1 アンケートの集計結果

番号	質問要約	集計結果	
1	課題管理が容易になったか	容易になった	100%
		容易にならなかった	0%
2	今後も利用したいか	利用したい	100%
		利用しない	0%
3	他学生との繋がりを感じたか	感じた	83%
		感じなかった	17%
4	複製の利用	利用した	83%
		利用していない	17%
5	いいねの利用	利用した	50%
		利用していない	50%
6	時間割の利用	利用した	67%
		利用していない	33%

同士のインタラクションが実現されている。そこで、本研究ではお気に入りの代わりとして他人の登録した課題情報を複製して自身の課題一覧に登録する機能と、それらの課題情報にいいねで反応できる機能を取り入れた。また、いいねランキングや他の学生から見ることが出来るユーザページを追加し、気になった学生の情報を個別で見られるようにした。

4 おわりに

本研究では、SNSを参考にインタラクション機能を検討し、それらを追加したReminderConnectを提案した。実際に被験者を12名集めて、2週間ReminderConnectを利用してもらう模擬実験を行い、アンケートによって使用感などの評価アンケートを行った。その結果をTable 1に示す。他人とのつながりについて聞いた設問3の結果より、83%もの学生が他学生とのつながりを感じ、設問4と設問5の結果から新たに追加した機能についても、多くの学生が利用していることがわかった。

参考文献

- 1) 齊藤：VR技術を用いたメディア講義における孤独感解消に関する一考察，研究報告グループウェアとネットワークサービス (GN), 2021(2), 1/6 (2021)
- 2) 柴田, 伊藤, 石津：オンライン授業のための課題管理システムの構築, 第24回社会システム部会研究会, 175 (2021)
- 3) 伊藤, 石津, 金指：学生同士のつながりを意識した課題管理アプリケーションの提案, 日本経営工学会 2022年秋大会, 190/191 (2022)

*本研究は日本経営工学会 2022年秋大会で発表したものである。